



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	17年末株価
NYダウ	25,309.99	347.51	1.39	0.36	2.39	24,719.22
NASDAQ	7,337.39	127.30	1.77	1.35	6.29	6,903.39
日経225	21,892.78	156.34	0.72	0.79	-3.83	22,764.94
上海総合	3,289.02	20.47	0.63	2.81	-0.55	3,307.17
滬深300 (CSI300)	4,071.09	18.36	0.45	2.62	1.00	4,030.86
ハンセン	31,267.17	301.49	0.97	0.49	4.51	29,919.15
H株	12,735.06	206.42	1.65	1.59	8.76	11,709.30

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.5%高と続伸、上海総合指数は2.8%高

香港市場は19日まで旧正月の連休で4日間の取引。ハンセン指数は4日間で0.5%高と続伸した。高止まりする米長期金利を受けて22日まで節目の31000ポイントを挟んで一進一退の値動きが続いたが、米国と中国の株高を好感して週末23日にこの水準を突破した。一方、本土市場では上海総合指数が2日間で2.8%高と続伸。2月に入って急落していた反動で連休明けから買い戻しが先行。中国人民銀行による資金供給が好感されたほか、雄安新区の開発計画が進展するとの思惑から関連銘柄が物色された。

今週の展望:香港市場は堅調な展開か、FRB新議長の議会証言が焦点に

香港市場は堅調な展開か。27日に予定されているパウエルFRB新議長の議会証言に注目が集まっており、イベント通過までは神経質な展開が見込まれる。パウエル新議長の発言によっては再び相場が不安定な展開となる可能性も否定はできないが、市場の不安心理を和らげるような内容であれば、相場は再び戻りを試す展開が見込まれる。週末引け後に発効する中国企業指数の新規組み入れもプラス材料。本土市場も堅調な展開か。根強い業績期待に加え、3中全会開催を受けて相場安定への思惑も働きそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 碧桂园 (02007)	15.04	8.51
2 中国旺旺 (00151)	6.68	7.92
3 吉利汽車 (00175)	23.90	5.29
4 中国神華能源 (01088)	23.35	4.94
5 東亜銀行 (00023)	34.35	4.57
6 万洲国際 (00288)	9.39	4.45
7 太古A (00019)	77.50	4.31
8 交通銀行 (03328)	6.50	3.67
9 ホンコン・ファイナガス (00003)	15.32	3.51
10 中国蒙牛乳業 (02319)	26.05	3.37

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 HSBC (00005)	79.65	-4.67
2 舜宇光学科技 (02382)	126.00	-1.56
3 サウス・ファイ (01928)	44.00	-1.35
4 信和置業 (00083)	13.82	-1.29
5 中国平安保険 (02318)	85.75	-1.27
6 華潤置地 (01109)	29.85	-1.16
7 中国海外発展 (00688)	28.35	-1.05
8 電能実業 (00006)	65.70	-0.61
9 ワーフ (00004)	28.90	-0.52
10 中国建設銀行 (00939)	8.44	-0.47

▼今週の主なイベント

- 2月27日(火) 【米国】パウエルFRB議長の議会証言
- 2月28日(水) 【香港】GDP速報値(10-12月期)
- 【中国】製造業PMI(2月)

▼今週の期待材料

- ◆26-28日に中国共産党の3中全会開催、中央政府が相場安定を図るとの思惑が強まる算
- ◆A株企業の17年本決算が好調、26日までに発表した比較可能な63銘柄の純利益は前年比175%増
- ◆先週の公開市場操作で差し引き5800億元の資金を市場に供給、2月は月初来で1900億元の供給超過

▼今週の懸念材料

- ◆中国政府が安邦保険集団に経営陣を派遣して実質国家管理化に、政府管理の強化に警戒感が広がる可能性も
- ◆米務省が5月14日に米大使館をエルサレムに移転すると発表、中東情勢を巡る混乱が拡大する算
- ◆FRBのパウエル新議長が27日に議会証言、発言内容によっては再び市場が不安定になる可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 新世界発展 (00017) : 27日に17年12月中間決算を発表、市場予想は77%増益
- ☆ 銀河娛樂 (00027) : 28日に17年本決算を発表、市場予想は54%増益
- ☆ 吉利汽車 (00175) : 李書福会長がダイムラーの株式9.69%を取得、筆頭株主に
- ☆ 中国中信 (00267) : 中国企業指数に新規採用、週末引け後に発効
- ☆ 瑞安房地產 (00272) : 17年12月本決算は50%超増益の見通し、物件の利益率が上昇
- ☆ 香港証券取引所 (00388) : 28日に17年本決算を発表、市場予想は28%増益
- ☆ テンセント (00700) : 中国企業指数に新規採用、週末引け後に発効
- ☆ チャイナ・テレコム (00728) : 1月の4G加入純増数が573万件に、前月比で21%増
- ☆ 長城汽車 (02333) : 独BMWと合弁会社設立に向けた意向書を締結
- ★ パークソン (03368) : 17年本決算は1.4億元の赤字に転落、前年の特別利益が剥落

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。